

駿府城跡天守台野外展示プロジェクト

～「文化遺産の保存と活用」・「デジタル技術による天守再現」を目指して～

関連するSDGsのゴール



1. 事業概要

駿府城跡（静岡市葵区）では、近年の天守台発掘調査で、徳川家康公が築いた2つの天守台や金箔瓦など、重要な発見が相次ぎ、天下人家康公の一生や歴史のストーリーを現地で体感できる、唯一無二の文化遺産として高く評価されています。

現在、発掘調査現場をそのまま公開していますが、それだけでは駿府城や家康公の歴史を楽しく体感することができません。

そこで、この場所を訪れる方が、歴史を楽しく体感し、歴史散策を楽しめるように、「家康公が築いた天守台の保存と活用」と「デジタル技術を用いた高精細な天守のVR映像制作とその活用」に取り組みます。



江戸時代(家康大御所時代)の天守台



金箔瓦

2. セールスポイントと独自性

- ◆ 発掘された家康公が築いた天守台を、未来に向けて保存・整備・活用することにより、家康公や駿府（静岡）の歴史を生き活きと感じ、ワクワクと学び、楽しめる野外展示が実現します。
- ◆ 実物の文化遺産+高精細なVR映像とのコラボレーションにより、ここにしかない駿府城の姿を体感できるようになります。
- ◆ この取組により、駿府城エリア周辺を、フィールドミュージアムとして、楽しく歴史散策することができるようになります。

3. 現状と課題

【現状】 発掘調査で見つかった天守台をそのままの状態で開催しているため、歴史の価値やストーリーを理解することが難しい状態です。

【課題】 発掘された天守台を安全、快適に見学し、天守の姿や歴史のストーリーをわかりやすくイメージできる取組が必要です。

4. 寄附を募る理由

駿府城という文化遺産を未来に受け継ぎ、活かしていくためには、より多くの方々の協力を得て、駿府城を“みんなの遺産”として取り組む必要があります。そのため、以下の内容に対し、幅広く寄附を募ります。

- (1) 天守台の保存・活用
家康公が築いた天守台見学のための施設整備、保存修復の取組
- (2) デジタル技術を用いた天守再現
高精細なCG(*1)による駿府城天守のVR(*2)の制作
駿府城天守のVRと現実の石垣を重ねたAR(*3)制作

- *1 コンピュータを使って描かれた画像
- *2 仮想空間を、あたかも現実であるかのように体験できる技術
- *3 現実の風景に、実在しない映像を重ね合わせる体験ができる技術



メッセージ

文化遺産+デジタル技術で「ありし日の駿府城」の姿を、ワクワクしながら体感できる空間を作り、子どもたちの学びや観光などに活用する取組です。皆様のご支援をお願いします。



天守台野外展示完成イメージ
パース